

資料 2

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（令和 3（2021）年度～令和 5（2023）年度）
の進捗状況について

施策の方向 1 - 1 介護予防の充実

①脳健康教室

施策・事業名	①脳健康教室			担当課	高齢者福祉課	
概要	読み書きや簡単な計算等の学習を通して、脳の活性化を図ります。また、学習に通い、他者との交流や生活リズムの保持を行うことで認知症を予防し、参加終了後も、地域で自主的に認知症予防のための活動が行えるように支援します。					
現状・課題	超高齢社会を迎え、住民の認知症予防への関心は高い状況ですが、学習者募集では十分な人数が集まっていない・新規の参加者が少なく、リピーターが多くなっている等の課題があります。また、事業終了後の地域活動への発展にはつながっていないため、地域づくりに展開できる仕組みの検討が必要となっています。					
今後の方向性	<p>高齢者の実情を把握するために行う介護予防把握事業の結果を基に実施方法を再検討し、認知症予防について、より多くの住民が積極的に取り組める内容としていきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>事業の課題を踏まえて、教室形式ではなく、より多くの市民が活用できる脳活問題集「はじめよう！いんざい脳活」の作成へ変更。広報や町内回覧、くらしの便利帳等で周知、窓口や地域包括支援センターでの配布に努めました。</p>					
指標	計画			実績		
参加実人数（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	20	20	20	2353		

②動いて！認知症予防

施策・事業名	②動いて！認知症予防			担当課	高齢者福祉課	
概要	運動を行いながら認知症の予防を図る教室です。介護予防教室において、「栄養」「口腔」等の講座を取り入れ、介護予防に重要なプログラムを総合的に実施します。また、自発的に介護予防・健康づくりに取り組む環境を提供することで、住民が主体的に活動し、仲間づくり・地域づくりができる仕組みを構築します。					
現状・課題	参加者数が減少していますが、事業終了後には地域活動への参加につながっている現状があります。事業のあり方等、今後の展開方法について検討する必要があります。					
今後の方向性	<p>介護予防把握事業を基にどのような介護予防事業を展開していくべきかを他の介護予防事業と共に検討し、事業の再構築を行います。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>事業は2回（定員30名）実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため、1回のみの実施となり、9名の参加がありました。</p> <p>広報での周知の他、介護予防把握事業（75歳以上の介護認定を受けていない方・介護保険サービスを受けていない方を対象に基本チェックリストを送付）にて、返答いただいた回答を基に、対象となる方に直接教室の案内を郵送し、参加を促しました。</p>					
指標	計画			実績		
参加実人数（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	35	35	35	9		

③いんざい健康ちょきん運動

施策・事業名	③いんざい健康ちょきん運動			担当課	高齢者福祉課	
概要	住み慣れた地域で顔なじみの人たちとの生活を維持することを目的に、地域住民が歩いて参加できる場所で主体的に筋力運動を行いながら、健康づくりや地域づくりを行います。					
現状・課題	活動グループ数は増加しているものの、地域によってグループ数に差があります。また、健康づくりに関心が高い一方で、地域包括ケアシステム構築に向けて、住民が主体的に地域づくりを行う状況には至っていません。					
今後の方向性	<p>活動グループのない地域に関係組織と連携して立ち上げを働きかけるとともに、ちょきん運動参加者が主体的に活動し、健康づくりに留まらず、仲間づくり・地域づくりを行いながら自助・互助への取り組みに展開できる仕組みを構築します。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>広報、市HP等の掲載や、地域包括支援センター、関係機関等と共にちょきん運動の周知を行い、令和3年12月15日現在で72グループ、1,525名が参加しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画の参加人数には達していない状況です。</p> <p>また、ちょきん運動やその出前講座、他の介護予防事業内の講座において、高齢社会に向けた地域包括ケアシステムの構築や地域づくり、健康づくりの普及・啓発を行っています。</p>					
指標	計画			実績		
参加実人数（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	1,600	1,700	1,800	1,525		

④介護支援ボランティア

施策・事業名	④介護支援ボランティア			担当課	高齢者福祉課	
概要	高齢者の介護予防のため、市内に居住する65歳以上の方を対象とし、介護保険施設等でのボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じて交付金を交付する制度です。					
現状・課題	登録者数・受入施設数ともに増加傾向にありますが、地域包括ケアシステムの構築に向けて、さらなる事業の周知・啓発が必要となっています。					
今後の方向性	<p>介護予防に留まらず、地域包括ケアシステムの構築の核となる地域づくりや互助・共助の一助となる事業であるため、事業の周知・普及に努めます。</p> <p>今後、ボランティアでの地域の支え合い活動も対象に含めるか等、事業内容を検討します。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、介護保険施設でのボランティア受け入れが難しい状況となっており、介護保険施設以外の受け入れ先やボランティアの内容について、協議を行っています。</p>					
指標	計画			実績		
ボランティア 登録者数（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	100	110	120	48		

施策の方向 1 - 2 医療・介護の連携等地域ネットワークの充実

①医療・社会資源の把握

施策・事業名	①医療・社会資源の把握			担当課	高齢者福祉課	
概要	住民の医療・介護へのアクセスを容易にし、医療・介護関係者の連携を促進するため、地域の医療・社会資源の把握をし、市民や関係者に情報提供します。					
現状・課題	医療機関等に対して、2年毎にアンケート調査を行い、「介護と医療サポートガイド」の情報更新をしていますが、内容について検証の必要があります。					
今後の方向性	更新にあたり、情報の内容と発信の方法について検討し、より有効な活用を図ります。 【進捗状況】 「介護と医療サポートガイド」の内容を見直し、配布する予定です。					
指標	計画			実績		
介護・医療サポートガイド等	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	更新	配布	更新	更新		

②在宅医療・介護連携推進会議

施策・事業名	②在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議			担当課	高齢者福祉課	
概要	地域の医療・介護関係者などが参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出、対応策などの検討を行っています。					
現状・課題	医療・介護の連携における地域の現状や課題の把握に努め、対応策を話し合っています。課題に対する具体的な対応策を検討し連携会議に提案するために、ワーキンググループの立ち上げを行いました。今後は課題ごとのワーキングを機能させていく必要があります。					
今後の方向性	<p>圏域の地域包括支援センターと連携しながら地域課題の把握に努めるとともに、ワーキンググループから提出された課題への対応策等について話し合い、事業を推進します。また、認知症の方の診断や介護サービス等の導入を支援する認知症初期集中支援チーム検討委員会と一体的に開催し、取組強化を図ります。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>令和3年度から、認知症初期集中支援チーム検討委員会と合併したため、認知症対策を含めた在宅医療・介護連携の取り組みについて話し合いを進めます。令和4年1月に第2回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議を開催予定です。</p>					
指標	計画			実績		
在宅医療・介護連携 推進会議開催	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	3	3	3	1		

③切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築

施策・事業名	③切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築			担当課	高齢者福祉課	
概要	地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進します。					
現状・課題	サービス事業者間の横のつながりはできつつありますが、今後は多職種間でネットワークを構築する必要があります。在宅医療や訪問看護等の資源が少ないことから、市民が希望する在宅医療を十分に提供するためにも、関係者間で連携を図る必要があります。					
今後の方向性	<p>訪問診療医や訪問看護師を支援する体制を整え、介護関係者との連携を図り、在宅療養者を支えるための仕組みづくりを行います。</p> <p>また、医療従事者等に意見を聞く機会を設け、市の在宅医療の仕組みづくりについて検証します。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>医療や介護事業者の連絡会に定期的に参加し、現状の把握や情報の共有を図るとともに、在宅医療の仕組みを検討します。</p>					
指標	計画			実績		
相談窓口の設置	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	実施	評価・改善	実施	実施		

④在宅医療・介護連携に関する相談支援

施策・事業名	④在宅医療・介護連携に関する相談支援			担当課	高齢者福祉課	
概要	在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置により、連携の取り組みを支援します。					
現状・課題	第7期計画において、相談窓口は委託化を検討していましたが、在宅医療・介護連携推進会議の審議を経て、当市や近隣市町の現状を踏まえ、委託は見送りとしました。当面は、市に設置した状態を継続し、関係機関が互いに連携を図りやすい関係の構築に努めます。					
今後の方向性	相談窓口を高齢者福祉課に設置し、関係者からの相談に対応し支援していきます。 【進捗状況】 国や近隣市町の動向を注視し、委託化の有無を含めて会議で話し合いを進めていきます。					
指標	計画			実績		
相談窓口の設置	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	実施	実施	実施	実施		

⑤地域住民への普及啓発

施策・事業名	⑤地域住民への普及啓発			担当課	高齢者福祉課	
概要	地域住民（本人や家族）が在宅での医療や介護について理解し、自分自身で選択することができるように、講演会等の開催や情報提供媒体の作成による情報提供等を行い、普及啓発活動に取り組んでいます。					
現状・課題	介護と医療サポートガイドの見直しを行い、情報の更新や提供を行っています。市民健康講演会を開催し、在宅医療・介護についての周知理解に努めていますが、まだ十分に周知されていない状況です。					
今後の方向性	<p>継続的に講演会を開催するとともに、「介護と医療サポートガイド」の内容を見直し、市のホームページ等に掲載していきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、秋に予定していた講演会は中止した代わりに、在宅医療に従事している方にインタビューを行い、今後配信を予定しています。また、令和4年3月に「オーラルフレイル予防講座」の開催を予定しています。「介護と医療サポートガイド」は令和3年度に更新の予定です。</p>					
指標	計画			実績		
講演会の開催	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	2	2	2	1		

⑥医療・介護関係者の情報共有の支援

施策・事業名	⑥医療・介護関係者の情報共有の支援			担当課	高齢者福祉課	
概要	情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援します。 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用できるようなツールを検討します。					
現状・課題	事業所を対象にしたアンケート調査では、ケアマネジャーの8割が千葉県地域生活連携シートを活用していることが把握できました。また、病院連絡会研修会においては、千葉県地域生活連携シートの活用について、意見交換を行いました。入退院時の連携においては千葉県のシートが普及しているため、活用にあたっての問題点等の情報交換を継続します。今後は、在宅での医療連携や看取り、急変時の情報共有について検討する必要があります。					
今後の方向性	在宅での医療連携や看取り、急変時の情報共有について検討します。 【進捗状況】 「千葉県地域生活連携シート」の活用状況や利便性を把握するため、介護支援専門員研修会の中でシートの活用について質問します。					
指標	計画			実績		
情報共有ツール等	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	ツールの作成	ツールの共有	ツールの見直し	状況把握		

⑦医療・介護関係者の連携推進

施策・事業名	⑦医療・介護関係者の連携推進			担当課	高齢者福祉課	
概要	介護関係職員に対して医療知識取得のため、または医療と介護相互の理解促進のために連絡会や研修会を企画し、在宅医療・介護連携の円滑化を図ります。					
現状・課題	病院連絡会、事業所連絡会、多職種連携研修企画ワーキング等で、医療と介護の相互理解を図ります。参加者から、まずは顔が見える関係を作ることが重要との声がありましたが、知識の向上を図るためには定期的開催し情報交換する場が必要であり、今後の課題です。					
今後の方向性	各専門職が連携を図りやすくするために、お互いの専門分野を理解することが必要であり、今後も事例検討会や研修会を通して知識を深めたり関係の構築に努めます。多職種間の連携により、在宅における医療・介護サービスの提供体制を構築します。状況により、リモート開催等で連携支援に努めます。 【進捗状況】 事業所連絡会はリモート開催、参集での開催それぞれに参加し、連携支援に努めています。また、医療と介護の関係構築のため、研修会を行う予定です。					
指標	計画			実績		
連絡会・研修会の開催	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	5	6	7	7		

⑧地域ケア会議の推進

施策・事業名	⑧地域ケア会議の推進			担当課	高齢者福祉課	
概要	多職種が協働し、個別ケースの支援のために実務者レベルの地域ケア会議を開催するとともに、そこで蓄積された最適な手法や把握した社会資源・地域課題を関係者と共有・検討するために、市レベルの地域ケア会議を開催します。					
現状・課題	圏域ごとに地域ケア会議を開催していますが、課題抽出には至っていない状況です。 地域包括支援センターと地域ケア会議の活用の仕方などを協議し、市レベルの地域ケア会議につなげる必要があります。また今後は、介護予防事業と関連した、自立支援型地域ケア会議への取り組みも必要です。					
今後の方向性	地域包括支援センターと連携し、個別の課題から市全体の課題の解決を図りながら、地域のネットワークを構築します。 【進捗状況】 各地域包括支援センターが開催した会議から浮かび上がった地域課題について協議するため、市レベルの地域ケア会議を3月に予定しています。令和3年3月に自立支援型地域ケア会議を立ち上げ、令和3年度は4回開催予定です。					
指標	計画			実績		
市レベルの地域ケア会議の開催	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	1	1	1	1		

施策の方向 1－3 認知症施策の推進

①認知症ケアパスの作成

施策・事業名	①認知症ケアパスの作成			担当課	高齢者福祉課	
概要	認知症の人が、できる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、また認知症の人やその家族が安心できるよう、標準的なケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）を随時見直し改訂及び普及することで、認知症の人やその家族に医療・介護サービスが切れ目なく提供されるようにします。					
現状・課題	令和元年度に改訂を行い、より見やすく一般の人にもわかりやすい内容としましたが、ケアパスの存在を知らない人も多くいます。多くの人々が認知症を理解し、必要なケアをスムーズに受けることで、できる限り住み慣れた地域で生活ができるよう、ケアパスの活用について周知を図る必要があります。					
今後の方向性	認知症の人を支えるために十分活用できる内容となるように、内容の見直しを継続するとともに、ケアパスの周知に積極的に取り組み、活用方法について認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーター等と検討を続けていきます。 【進捗状況】 認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーターとの意見交換会にて掲載内容・情報の見直しをしています。					
指標	計画			実績		
認知症ケアパス	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	配布・見直し	配布	配布・見直し	配布		

②認知症カフェ

施策・事業名	②認知症カフェ			担当課	高齢者福祉課	
概要	地域での日常生活強化・家族支援に向けて、認知症の人・家族・専門職・地域住民など誰もが参加でき、和やかに集う「認知症カフェ」を圏域にて開催します。					
現状・課題	認知症に対する理解を深めてもらうため、当事者やその家族と地域の方の交流を図ることが必要と考えますが、当事者やその家族の参加数が増えない現状があります。					
今後の方向性	地域包括支援センター等と連携をとりながら、当事者とその家族の参加を増やしていきます。地域の人との交流を増やすことで認知症に対する理解を広め、認知症になってもできるだけ住み慣れたところで生活できる地域づくりにつなげていきます。状況により、交流手段について柔軟に対応していきます。 【進捗状況】 各圏域の地域包括支援センターにて開催中です。令和3年11月末現在14回開催、142人参加されています。					
指標	計画			実績		
参加人数（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	410	420	430	142		

③人材育成

施策・事業名	③人材育成			担当課	高齢者福祉課	
概要	地域での日常生活強化・家族支援に向けて、認知症になっても地域で生活を継続していくために、医療・介護及び生活支援ネットワークを構築し、必要な人材を育成しています。					
現状・課題	すべての地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置するなど人材は増えていますが、医療・介護及び生活支援ネットワークの構築や、認知症施策にかかわるリーダーとして活動できる人材の育成が必要になっています。					
今後の方向性	認知症地域支援推進員・千葉県認知症コーディネーター・認知症キャラバンメイト・認知症サポート医・認知症介護実践指導者等の連携を深め、市としての認知症施策について共に検討し、実践できる体制を整えていきます。 【進捗状況】 令和3年度、認知症地域支援推進員4人、千葉県認知症コーディネーター2人、認知症キャラバンメイト4人が養成される予定です。					
指標	計画			実績		
認知症地域支援推進員ほか増員（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	10	10	10	10		

④認知症サポーター養成

施策・事業名	④認知症サポーター養成			担当課	高齢者福祉課	
概要	地域での日常生活強化・家族支援に向けて、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対して、できる範囲の手助けをする認知症サポーターを養成しています。					
現状・課題	小学校での養成は継続しているが、中学校では実施できていません。また、即戦力として活躍が期待できる職域や一般企業での養成が増えていかない現状があります。					
今後の方向性	<p>認知症サポーターの養成を引き続き進めるとともに、感染症対策を含めて学校での受け入れ体制を確認しながら、中学校や高校でも実施できる内容となるように検討していきます。また、職域や一般企業などの養成を増やし、認知症の人を支える地域づくりへと広がるようにしていきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>市内小学校 18 校中 16 校で開催予定。令和 3 年 11 月末時点で 7 校、532 名養成しています。一般向けでは、民生委員や支部社協等にて実施し、令和 3 年 11 月末現在、4 回開催して 55 名養成しています。</p>					
指標	計画			実績		
認知症サポーター 養成数（人）	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	1,200	1,200	1,200	587		

⑤初期集中支援チームの設置

施策・事業名	⑤初期集中支援チームの設置			担当課	高齢者福祉課	
概要	<p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるため、適切な医療や介護サービス等の利用につながっていない認知症の人やその家族に早期にかかわる初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を図っています。</p>					
現状・課題	<p>初期集中支援の対象になるケースの選定や、支援につなげるタイミングを図ることが難しく、適切な時期に支援を開始することが難しいのが現状です。初期集中支援の対象者や目的などについて関係者が理解を深め、より効果的な時期に支援を開始できるようにしていく必要があります。</p>					
今後の方向性	<p>初期集中支援が必要な方に対し、より適切な時期に支援を開始できるように、事例検討会などを行いながら対象者の選定や目的について関係者で理解を深めていきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>令和3年11月末現在、今年度初期集中支援チームによる支援を受けた人は8名です。初期集中支援チームの委託先である日本医科大学千葉北総病院が認知症疾患医療センターを設置し、相談件数が増加したことが支援件数増加に影響していると思われます。</p>					
指標	計画			実績		
初期集中支援チーム	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	7	9	11	8		

⑥早期発見事業

施策・事業名	⑥早期発見事業			担当課	高齢者福祉課	
概要	認知症やその前段である軽度認知障害（MCI）の相談できる場を作り、軽度認知障害（MCI）が早期に発見でき、適切な医療機関に連携できるよう早期発見事業を行っていきます。					
現状・課題	軽度認知障害（MCI）を確認できるツールを導入し活用中ですが、本当に心配な人は使いたがらないことも多く、多くの方が気軽に相談できる場を作ることが必要です。					
今後の方向性	<p>「認知症カフェ」「認知症予防講座」「物忘れ相談」を開催する中で、軽度認知障害（MCI）を確認できるツールを用いて早期発見に取り組みます。また、発見してからも、その結果を生かし必要な人に支援開始できるように働きかけていきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>「認知症カフェ」や地域のサロン等にて軽度認知障害（MCI）を確認できるツールを活用しています。令和3年11月末現在、3回機会を持しましたが、実施した人はいません。</p>					
指標	計画			実績		
早期発見事業	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	95	100	105	0		

⑦認知症周知啓発事業

施策・事業名	⑦認知症周知啓発事業			担当課	高齢者福祉課	
概要	認知症に対する知識を深めると同時に、認知症予防の方法を学習することで、一人ひとりが認知症の危険因子を減らす行動を習慣化できるように予防事業にて支援しています。					
現状・課題	出前講座で認知症に対する周知啓発を目指しましたが、講座の利用者数は伸びていない状況です。より多くの地域住民が認知症予防に関心が持てるように積極的に講座の実施を働きかけていく必要があります。					
今後の方向性	より多くの地域住民が認知症予防に関心が持てるように、幅広い年齢層に対して積極的に講座の実施を働きかけていきます。また、認知症に対する周知啓発を進め、認知症になっても住みやすいまちづくりを目指します。 【進捗状況】 「知って安心認知症予防」と題し、出前講座として講座を実施中です。令和3年11月末現在、2回実施し、27名が聴講しています。					
指標	計画			実績		
出前講座 「知って安心認知症予防」(人)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	40	50	60	27		

⑧成年後見制度の利用促進

施策・事業名	⑧成年後見制度の利用促進			担当課	高齢者福祉課 障がい福祉課	
概要	ひとり暮らし高齢者や認知症の人の増加が見込まれる中で、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、権利擁護を必要とする人を制度に結び付けるとともに、地域で被後見人等を支える市民後見人の養成に取り組み、支える側も支えられる側も、安心して生活できる体制を整えます。					
現状・課題	利用促進を図るため、成年後見相談会や研修会を実施しています。令和元年度は成年後見制度利用促進に係る意見交換会を3回開催し、市としての今後の方向性をまとめ、市の成年後見制度利用促進基本計画にも反映します。今後は計画に基づき関係各課と連携し、段階的に施策を展開することが必要です。					
今後の方向性	成年後見制度の利用促進として、関係各課と連携し、広報、相談窓口機能を強化し、必要な人が支援につながるよう中核機関の機能を整えます。また、市民後見人の養成に向けて基盤整備を行い、養成講座を実施していきます。 【進捗状況】 庁内関係部署と関係機関との連携を目的として、会議を開催しました。市長申立てについては、支援方針会議にて3件検討を行いました。そのうち、1件は申立て前に対象者死亡、2件は申立ての準備を進めております。					
指標	計画			実績		
	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
事業の段階的实施	中核機関機能強化	市民後見人養成準備、中核機関機能強化	市民後見人養成講座開始、中核機関の設置検討	中核機関機能強化		
市長申立件数	—	—	—	0		

施策の方向 1 - 4 生活支援サービスの充実

①介護予防・日常生活支援総合事業の展開

施策・事業名	①介護予防・日常生活支援総合事業の展開			担当課	高齢者福祉課	
概要	介護予防・日常生活支援総合事業には、要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・日常生活支援サービス事業があります。住み慣れた地域で生活を継続するために、要支援者等の状態に応じて選択ができるサービスの創生を目指します。					
現状・課題	現状としては、従来の訪問・通所介護相当サービスしかなく、地域で自立した生活を目指す支援には至っていない状況です。一律のサービスではなく、その人にとって必要なサービスを選択できる支援や、一人ひとりの生きがい・自己実現を促す支援を行う必要があります。					
今後の方向性	<p>介護予防把握事業を基に、高齢者の生活実態や多様な生活支援等のニーズを把握していきます。</p> <p>令和3年度以降、介護予防・生活支援サービス事業の通所型サービスCモデル事業を実施し、要支援者等の自己実現や生きがいのある生活を送るための支援を検討しながら、多様なサービスの創生につなげていきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>新たなサービス創設に関する意見交換会を事業者と10月に実施しました。</p>					
指標	計画			実績		
	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	実施	実施	実施	実施		

②生活支援サービスの体制整備・充実

施策・事業名	②生活支援サービスの体制整備・充実			担当課	高齢者福祉課	
概要	住民主体の活動や社会福祉法人、NPO、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地縁組織などの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、地域の支え合いの体制づくりを推進することを目指すものです。					
現状・課題	市内各圏域に生活支援コーディネーターを配置し、生活支援や介護予防に対するニーズの把握を行っていますが、地域の支え合いの体制づくりを推進するための協議体の設置には至っていません。体制整備の必要性について積極的に周知を図り、多様なサービスの開発を共に行える人材の発掘が必要です。					
今後の方向性	生活支援コーディネーターを中心とした地域の実態把握を継続するとともに、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりが推進されるよう、ワークショップや出前講座などを通じて、住民主体の支え合いや多様なサービスの必要性について周知を図っていきます。また、具体的なサービスの開発につながる検討が進むように、協議体の設置を目指します。 【進捗状況】 生活支援コーディネーターを配置（第1層：1名（社協）、第2層：5名（包括））し、地域資源の発掘、ネットワークの構築を進めております。また、地域団体や関係機関への協力依頼、地域資源の見える化に向け取り組んでいます。					
指標	計画			実績		
	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	45	50	55	21		

施策の方向 1 - 5 高齢者にふさわしい住まい・環境の充実

① 高齢者向け住宅整備状況の周知

施策・事業名	① 高齢者向け住宅整備状況の周知			担当課	高齢者福祉課	
概要	日常生活に支援が必要な高齢者が安心して生活できるよう、施設整備状況を情報提供しています。					
現状・課題	市内に介護付き有料老人ホーム2施設（定員 113 人）、住宅型有料老人ホーム1施設（定員 84 人）、サービス付き高齢者向け住宅3施設（戸数 66 戸）が建設されていますが、それらの整備状況を周知する必要があります。					
今後の方向性	施設の整備状況を市民等に周知するとともに、アンケート調査を実施し、施設の入所状況や待機者の人数などを把握することで、高齢者向け住宅等のニーズの把握に努めます。 【進捗状況】 介護保険事業所の整備状況について、ホームページに掲載しています。					
指標	計画			実績		
入所状況や待機者の把握	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	施設の公開	アンケート調査の実施	調査結果について精査	ホームページに掲載済		

②バリアフリー化の推進

施策・事業名	②バリアフリー化の推進			担当課	高齢者福祉課 開発指導課	
概要	高齢者が安心して日常生活を送れるよう、住宅等のバリアフリー化の推進を図ります。					
現状・課題	<p>エレベーターがない高層住宅やバリアフリー化されていない住宅に住んでいる人の高齢化が見込まれる中、外出が困難となり、住み慣れた住宅に住むことができなくなることが課題となります。</p> <p>マンション建設や宅地分譲においては、印西市開発事業指導要綱に基づく事前協議により住宅の通路や階段等のバリアフリー化に関して、高齢者に配慮した計画を事業者へ要望しています。</p>					
今後の方向性	<p>高齢者が安心して生活できる環境づくりを推進していきます。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>開発事業指導要綱に基づく事前協議申請に関する意見書にて住環境のバリアフリー化を開発事業者に要望しています。</p>					
指標	計画			実績		
関係機関と連携	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	実施	実施	実施	実施		